

1. 開成町の自転車利用環境をより良くするための対策を問う

自転車事故が社会問題となっている現在、開成町においても信号やルールを守らない危険な走行が多々見受けられ、通学時の児童・生徒の事故等が心配される。平成 20 年 6 月 1 日の道路交通法改正により、幼児および児童に対するヘルメットの着用努力義務が施行された。警察庁や製品安全協会などの調べによると、保護者との自転車同乗時や自ら自転車を乗車中に事故や転倒によってケガあるいは死亡した際、そのダメージの「6割」が頭部と言われているが、まだまだヘルメットの着用率が高いとは言えない。また、開成駅が急行停車駅になることにより、利用者の増加による駐輪場等の環境対策・防犯対策も急がれる。

町は第五次開成町総合計画に自転車のまちづくりの推進を掲げている。自転車に関わる交通事故を防止するために安全利用ルールの徹底やマナー向上が必要であると思われる。

そこで 次の項目について問う。

- ① 町と自転車関係事業者の連携により、安全啓発を図ってみては。
- ② 幼児および児童・高齢者へのヘルメット着用、損害賠償等への自転車保険の促進は。
- ③ 駅前周辺駐輪場の環境及び防犯対策は。